

地方版IoT推進ラボ第五弾選定地域

地方版IoT推進手法選定地域（全国101地域）

第1弾 2016年7月 29地域選定 第2弾 2017年3月 24地域選定
 第3弾 2017年8月 21地域選定 第4弾 2018年9月 19地域選定
 第5弾 2019年9月 8地域選定

※丸数字は選定期

中部経産局管内（15）

- ・富山県① ・石川県① ・加賀市①
- ・かほく市③ ・白山市② ・能美市④
- ・岐阜県① ・各務原市③ ・郡上市③
- ・愛知県① ・名古屋市② ・豊田市②
- ・幸田町③ ・三重県① ・木曽岬町⑤

近畿経産局管内（14）

- ・福井県① ・鯖江市② ・永平寺町③
- ・滋賀県② ・米原市④ ・京都市①
- ・大阪府② ・大阪市① ・八尾市④
- ・神戸市① ・淡路市③ ・奈良県①
- ・明日香村③ ・和歌山県①

中国経産局管内（7）

- ・鳥取県③ ・島根県①
- ・岡山県③ ・瀬戸内市③
- ・広島県① ・山口県②
- ・宇部市⑤

九州経産局管内（14）

- ・福岡県① ・北九州市①
- ・福岡市① ・直方市⑤
- ・嘉飯桂地域② ・佐賀県②
- ・長崎県② ・長崎市②
- ・島原市④ ・南島原市③
- ・熊本県① ・大分県②
- ・宮崎県② ・鹿児島県①

四国経産局管内（6）

- ・徳島県④ ・神山町④
- ・美波町③ ・高松市④
- ・愛媛県⑤ ・高知県①

北海道経産局管内（11）

- ・札幌市① ・函館市②
- ・室蘭市④ ・釧路市①
- ・北見市④ ・稚内市④
- ・森町⑤ ・長沼町④
- ・東川町④ ・猿払村③
- ・士幌町①

東北経産局管内（10）

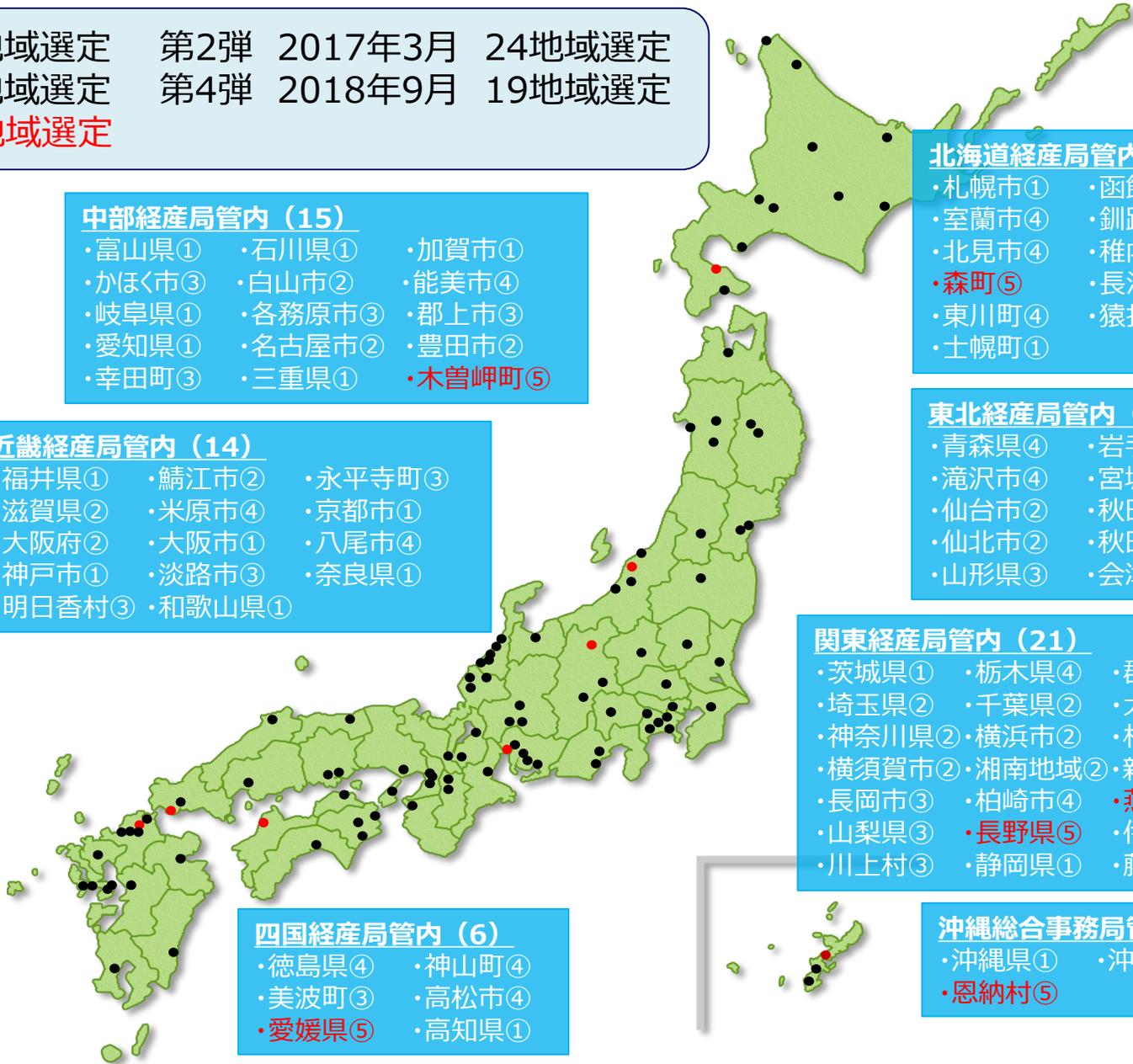
- ・青森県④ ・岩手県④
- ・滝沢市④ ・宮城県①
- ・仙台市② ・秋田県④
- ・仙北市② ・秋田横連携③
- ・山形県③ ・会津若松市①

関東経産局管内（21）

- ・茨城県① ・栃木県④ ・群馬県③
- ・埼玉県② ・千葉県② ・大田区③
- ・神奈川県② ・横浜市② ・相模原市②
- ・横須賀市② ・湘南地域② ・新潟県②
- ・長岡市③ ・柏崎市④ ・燕市⑤
- ・山梨県③ ・長野県⑤ ・伊那市①
- ・川上村③ ・静岡県① ・藤枝市③

沖縄総合事務局管内（3）

- ・沖縄県① ・沖縄市④
- ・恩納村⑤



地方版IoT推進ラボ 第五弾選定地域の概要①

■ 北海道森町 IoT Acceleration Mori town Lab

・IoT・ICT等をより多く活用し、効率化による担い手不足の解消、販路拡大等のため、**森町ITリーダを育成**。アイデア・アドバイスを町内事業者へ行い、**IoT・ICTの活用を広げることを目指す**。

・ITリーダによる町内の小・中・高校生に対してプログラミング教育やIoT、ICT技術の学習機会を提供し、高度人材の育成を進め、森町において**高度人材育成の場を形成する**。

【具体的取組】

- ①町内の各産業界とのシームレスな連携による、既存IT活用を活性化する枠組みとして「**モリラボ**」
- ②**森町ITリーダ（自身もつ漁業・農業・商業等の知識とITをマッチングできる人材）**を育成、コンサルティングも。



■ 新潟県燕市 IoT Acceleration Tsubame city Lab

・燕市の産業を支えてきた金属製品製造業や農業など「ものづくり産業」において、IoTを活用した生産性の向上を支援し、**未来（次世代）に向けた価値を創造するものづくり産地を目指す**。

①各企業が保有する様々な情報を**データとして蓄積し、企業間での活用**を可能とする「**燕版共用クラウド（仮称）**」の開発。受発注や設備稼働、在庫等の状況確認をクラウドを通じてネットワーク化することにより**生産性の向上及び企業間取引のデジタル化を促進する**。

②農業先進技術セミナーや勉強会を開催し、ロボット技術や情報通信技術（ICT）による**農業の可能性**を紹介。また、**人手をかけず、データを活用した農作業の実証実験**を行い、市内のモデルケースを創出する。

未来（次世代）に向けた価値を創造するものづくり産地へ



燕版共用クラウド(仮称)イメージ図



人手をかけない農作業の実証実験

地方版IoT推進ラボ 第五弾選定地域の概要②

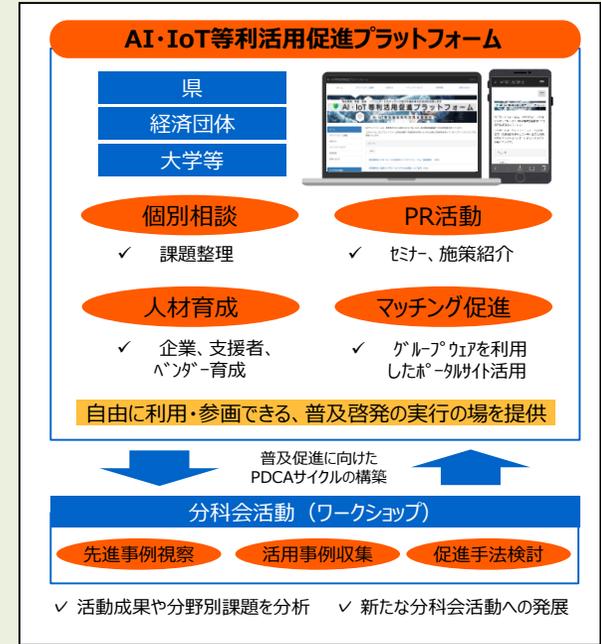
■長野県



県・産業支援機関・経済団体・大学等で組織される「**AI・IoT等利活用促進プラットフォーム**」を構築し、**普及啓発活動やマッチング支援**等を実施。産業や地域別課題等の抽出・整理を通じての分科会（製造業、サービス業、農業、観光業等）活動も併せて実施し、**県内中小企業の生産性向上と経営力強化を図る**。

【具体的取組】

- ①相談機能やマッチング機能を有する**ポータルサイト**を構築し、情報発信、事例共有、マッチング機会を創出
- ②事業者のIoT等に関する関心を高め、導入にあたっての基礎知識向上を図るための**普及啓発活動や人材育成活動**を実施
- ③補助事業でのモデル事例等を参考に、各事業分野、地域毎に具体的な導入/活用方法を検討



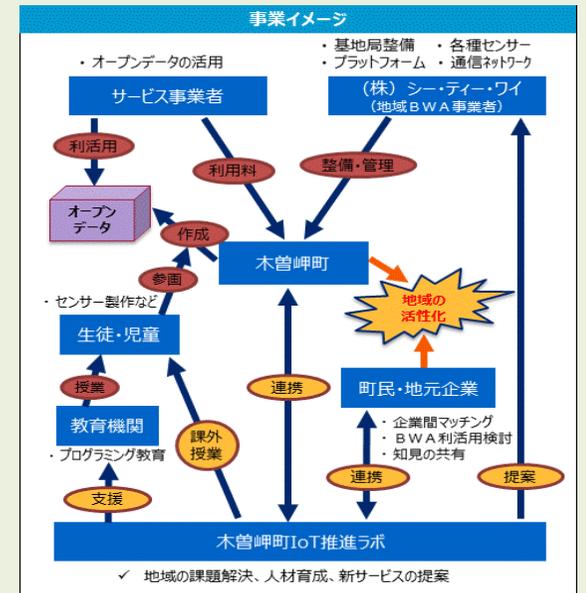
■三重県木曽岬町



ICT/IoTを推進する「便利で活気のあるスマートシティまちづくり」を展開

【具体的取組】

- ①地域BWA（Broadband Wireless Access）の活用推進
 （株）シー・ティー・ワイを中心とした**地域BWA活用推進ワーキンググループ**を設置。事例の選定と地域BWAを活用した課題解決案検討（実証実験、新技術開発等を含む）
- ②次世代人材育成
 信州大学総合センターを中心とした次世代人材育成ワーキンググループを設置し、小中学生を対象としたプログラミング教育を実施。**教育を受けた子供たちが次世代の担い手と成長し、次世代の子供たちを教育するという教育サイクル確立**を目指す。



地方版IoT推進ラボ 第五弾選定地域の概要③

■ 山口県宇部市

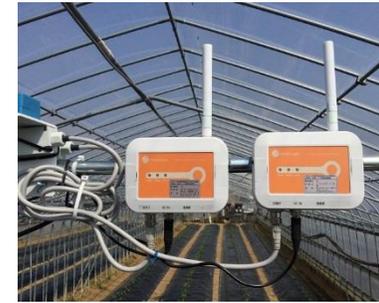
●「宇部市IoT推進ラボ」では、関係機関の連携により、本市が「戦略的作物」として生産を推奨する「お茶」、「オリーブ」、「トマト」、「花き」の4品目について農業センサーを活用したデータを蓄積し、データを基に、生産者、農業団体、研究機関、民間事業者、行政などの参加プレイヤーが協働して、分析・評価を行い、新しいアイデアを出し合うことで、生産性、所得向上につながる農業技術の向上や新たなICT・IoT技術等の研究・開発、新ビジネスの創出に取り組む。

●これらの取組の中で、効果的モデルの構築や他の作物への展開、生産過程での課題のICT・IoTを活用した解決、農業分野にとどまらない産業技術の向上に向けた取り組みを推進。

茶畑のセンサー



トマトハウス内センサー



花き
ハウス内センサー
(カーネーション)

宇部市IoT推進ラボ

- ①次世代農業を目指したIoTの導入・利活用による生産性の向上
- ②横展開事業・新ビジネスの創出の促進

■ 愛媛県

愛媛県、県内商工団体、大学・高等専門学校、金融機関、IT関係団体、産業支援機関が一体となって、県内企業におけるAIやIoT等先端技術導入・活用促進の支援を実施。

【具体支援施策（例）】

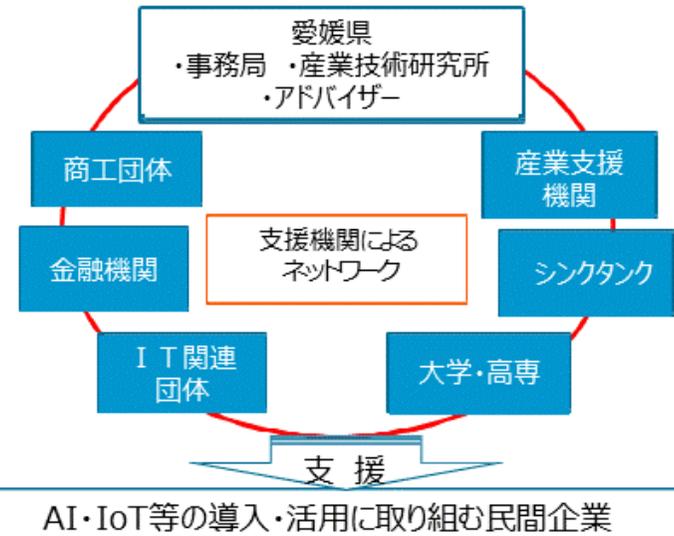
・AI・IoT等の導入による事業効率化、生産性向上

- ①先端技術や事例紹介セミナー開催、
- ②県内企業向け相談アドバイザの設置他

・AI・IoT等を取り入れた新製品や新技術の開発

- ①大学等研究者による最新の技術動向・活用事例紹介セミナー開催
- ②企業訪問による研究テーマの発掘およびブラッシュアップ
- ③産学官連携による共同研究の実施

えひめAI・IoT推進コンソーシアム（愛媛IoT推進ラボ）



地方版IoT推進ラボ 第五弾選定地域の概要④

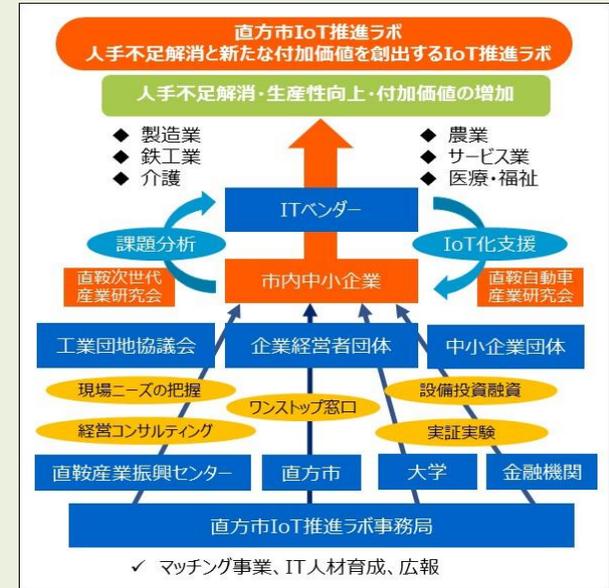
■ 福岡県直方市 Nogata city Lab

・市内の中小企業が人手不足の課題を抱える中、IoT及びAIの技術を導入することにより、生産性を向上させ、課題を克服すると共に、地場企業の付加価値を増大させ、延いては、地域経済の活性化へと繋げる。

・直方市及び直鞍産業振興センターが中心となり、市内の各企業団体と連携をして、市内のIoT化を進めるべき地域課題を抽出し、福岡県の協力の下、県内のITベンダーとのマッチングを進め、IT技術を活用して、生産性を向上させる。

【具体的取組】

- ① 啓発・セミナー開催による製造現場の意識醸成
- ② 製造現場の課題洗い出し
- ③ 福岡県IoT推進ラボと連携した、ITベンダーとのマッチング
- ④ 福岡県補助事業、金融機関との連携によるIoT・AI導入促進



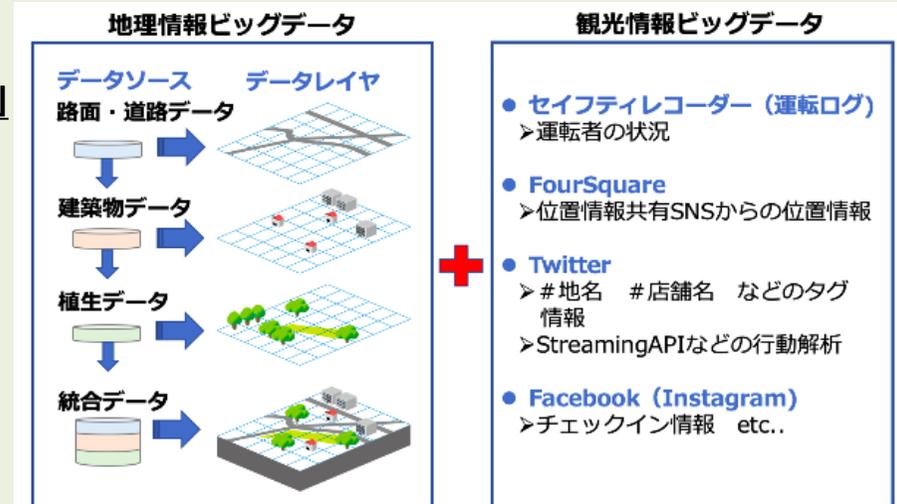
■ 沖縄県恩納村 Onna vill Lab

・恩納村で起きている事象に関する情報（空間情報）を集めて編集・分析し、村民に共有することにより、「問題解決のために協力しあう社会」「課題解決に向けて賢くなっていく社会」を実現することを目指す。

・IoT/ドローン等から得られる地域の環境・地理情報等の空間データの分析・アプリケーション開発を行う。

【取り組む事業例】

- ① 観光・地理・気象に関連する埋もれたデータの管理・活用に向けた コンソーシアム設立
- ② 海洋IoTプラットフォーム（位置情報を活用する情報プラットフォーム）の構築
- ③ 環境保全・観光目的に海岸線・海底の地理データ取得
- ④ データ分析・開発技術を持つエンジニアの育成



The logo features a stylized 'IoT' icon on the left, where the 'I' and 'O' are black and the 'T' is white. To the right, the text 'IoT Acceleration' is in a bold, black, sans-serif font, and 'Local Lab' is in a larger, bold, black, sans-serif font below it.

IoT Acceleration
Local Lab